

海・食・歴史

『みなと塩竈・ゆめ博』開催！

東日本大震災からの復興と塩竈の地域資源の魅力発信を目的に、まち全体を博覧会会場と見立てたイベントを10月に開催します。

市内のイベントや企画を「海・食・物産」「歴史・文化」に分類し、各主催者が連携して実施します。10月2、3、4日を中心に塩竈の魅力を発信していきます。具体的なイベント内容については左図のとおりです。『おいしさ笑顔がつどうみなとまち塩竈』を体感してもらえよう、準備を進めています。また、10月3日は、JR本塩釜駅アクトゲートでも近隣市町による『地域連携復興市ゆめ博・絆広場』を設け、物販やステージショーなども行います。楽しみにしてください。



みなと塩竈・ゆめ博
実行委員長 桑原 茂さん
(塩釜商工会議所会頭)
「ゆめ博を契機に、継続的に塩竈を来訪してもらえよう頑張ります」と話していました。

メインイベント

巡視船公開や公開訓練を計画中

サブイベント

ナイト寿司クルージング
ガイド付き浦戸クルーズ
ジギングバトルルアー釣り大会
君も船長！ポートキャプテン体験
クレーンのライトアップ(東北ドック鉄工株)

ゆめ博イベント

メインイベントは2、3、4日に、サブイベントは10月中の土日などに行う予定です。

歴史・文化

メインイベント

しおがまさま神々の月灯り
(鹽竈神社)

サブイベント

町屋や史跡をめぐる歴史探訪
酒蔵めぐりwith蔵人
美術館・博物館めぐり
体験藻塩づくり

食・物産

メインイベント

どっと祭(塩釜水産物仲卸市場)

サブイベント

ひがしものまぐる祭り
(市内寿司海道加盟店にて)
笹かまぼ焼き体験
塩竈の醍醐味
月見スイーツカフェ など

景観コラム 『景観十年、風景百年、風土千年』

中世の面影も残る「塩竈の都市景観」

港町・門前町である本市に、かつてお城があったことをご存知ですか。市役所本庁舎の北側にある、東園寺雷神山に「駒犬城」がありました。築城時期は不明ですが、当地域を治めていた留守氏の城といわれ、後に重臣であった佐藤氏の居城となりました。しかし、伊達政景(政宗の叔父)が留守家のあとを継ぐことに佐藤氏が反対したため、元龜年中(1570~1573)、政景は駒犬城を攻め、佐藤氏は落ちのび廃城となりました。



まちの中心に残る丘陵が実は城跡と考えると、違った風景に見えてきませんか。塩竈の都市景観の中に中世の面影を探してみましょう。

【参考文献：塩竈市史本篇Ⅰ・別篇Ⅰ・資料篇Ⅰ・塩竈の歴史・塩竈市の文化財ガイド】

■景観シンポジウム(海と社が織りなす塩竈の美しい未来)

とき 8月1日(土) 14:00~16:00

ところ 鹽竈神社大講堂

講師 風見正三氏(宮城大学事業構想学部教授)

※プレイベント眺望見学会 13:00~(志波彦神社前)

問 都市計画課まちづくり推進係
☎364-2510



駒犬城跡の碑
(東園寺境内)

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1Mhz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H27.5.31現在

住民基本台帳調べ (前月比)
人口 55,714人(+2人)
男 26,594人(-10人)
女 29,120人(+12人)
世帯数 22,995戸(+35戸)